

ALL TAKAMORI is for CHILDREN 第102号

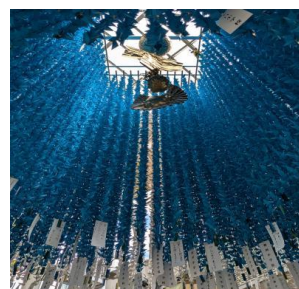
～学校支援地域本部は地域に作られた学校の応援団です～

2024年8月23日

長い夏休みが終ろうとしています。パリ・オリンピックの各競技の熱戦に感動、興奮した17日間が記憶に新しいところです。オリンピックという舞台にたどりつき、全力を尽くした選手の皆様が発する「あきらめない！」という言葉が印象的でした。皆様は、どの種目が心に残っていますか？

8/28 から始まるパラリンピックも楽しみですね。

仙台七夕まつりでは、毎年、復興の折り鶴が一番町藤崎前に飾られます。東日本大震災からの復興を祈って仙台市全ての小中学校児童によって作成されていますが、今年は能登半島地震の被災された皆様への思いも込めて清々しい青空を思わせるブルーの78000羽が輝いていました。



7/27 高森東夏祭り

あいにくの雨で開催が危ぶまれましたが、高森東連合町内会・夏祭り実行委員会の皆様の熱い思いで、開会時には雨が小降りになり、沢山の傘が高森東公園に向かっていました。

会場には、各町内会や児童センター、ジュニアリーダー等のテントやキッチンカーが並び、どの出店にも行列ができていました。子どもたちにとっても楽しみにしていた夏祭り！有志の小学生と中学生が踊った「高東ソーラン」に沢山の拍手が送られました。



8/3 高森夏祭り

高森小学校は改装工事中の為、仮設トイレを設置する等、早朝から会場準備が始まりました。

高森コミセンを出発した子どもも神輿が校庭に到着して、開会の花火が鳴って夏祭りスタートです。雀踊り、高森ソーランと子ども達が夏祭りを盛り上げてくれ、『つぶら』の皆様の雀踊り演舞、『ファインピックチアリーダー』の子ども達のチアダンスが祭りに色を添えてくれました。生唄の盆踊りも高森の自慢です。3年生の女の子達も檣の上で『高森音頭』を披露してくれました。抽選会、お菓子まきに大興奮の夏祭り！打ち上げ花火で幕を閉じました。





8/18 高森東 灯籠まつり

「高森東ふるさとづくりの会」の灯籠まつりが開かれました。台風の影響で18日に変更になったものの、300基の灯籠がきれいに並び、篠笛が黄昏時の東公園に響きます。暗闇に灯籠に書かれた様々な文字が浮かび上がり、地域の皆様の心を癒してくれました。

8/22 第3回 高森東小学校学校運営協議会

校長先生より仙台市標準学力検査結果の報告をいただいた後に、先生方と運営委員が5グループに分かれて熟議を行いました。これかさらに伸ばしていきたい高森東の子供たちの資質・能力についての熟議でした。先に校長先生からお聞きした生活状況調査でも「自分には良いところがある」と答えた児童が100%！「人の役に立ちたい」と答えた児童が100%と、自己肯定感が高い子どもたちの様子をお聞きした後に、足りないところがあるのかな？と考えてしまいましたが、強いて言えば「たくましさ！強い心」と付箋に書いてみました。どのグループも同じような意見が多く、『失敗』という言葉がキーワードになりました。「失敗を恐れて挑戦することを止めてしまう！」「大人が失敗しないようにお膳立てしてしまう？」「『失敗は成功のもと』とあるように、『失敗する』って大事なこと。」高森東児童センター武田先生から「子どもたちには、自分で考えさせるようにしている。これをするためには何が必要か？体験を通して子どもたちは学びます」というお言葉をいただきました。失敗から学ぶことが沢山あるので、子どもたちには失敗することを怖がらないで何にでもチャレンジして欲しいですね。

だいじょうぶ！！失敗しても先生方や家族がフォローしてくれますよ！



7/19 高森東小「小1サポーターさんへの感謝の会」

小1サポーターの皆様には4月から7月まで、1年生の学校生活のサポートをしていただきました。6月までは、学習や生活、給食準備・片付け等の支援、7月には授業時間のサポートを行って下さった皆様に子供たちは、この日いっしょにゲームをしたり、お礼の言葉をお伝えしたり、手紙を渡したりして、サポーターさんと楽しい時間を過ごしました。子供たちの中には、お別れがさみしくて泣きだしてしまう子もいました。感動的な感謝の会になりました。



広報誌『ALL TAKAMORI』は、毎月20日に発行し、高森小・高森東小の全ご家庭と地域回覧で皆様にお届けしています。高森小・高森東小・高森中ホームページ「お便りコーナー」からもご覧いただけます。



高森中学校区学校支援地域本部

高森小学校学校支援地域本部スーパーバイザー 横山 倫子

高森東小学校学校支援地域本部スーパーバイザー 大泉 ルミ